

< 掲載の一例 >

事例 50 回収装置の採用及び洗浄槽の蓋閉めの徹底

(工程の管理・運用上の改善及び 処理装置の設置)

【事業所の概要】

業種名	非鉄金属製造業
事業所の従業員規模	50～99人
事業内容	アルミ合金製製品（金属線、金属棒、リベット等）、金属加工用素材
製造工程	【製品共通、金属部品加工後の洗浄工程】 アルカリ洗浄 加工油で水分を除去 脱脂洗浄 検査 梱包・出荷

【対象化学物質】

対象化学物質	物質番号	211		
	物質名	トリクロロエチレン		
用途	分類	工業用洗浄剤		
	内容	脱脂洗浄用の洗浄剤		
使用される工程	脱脂洗浄工程（上記洗浄工程の ）			
排出ポイント	使用される工程と同じ			
排出量の算出方法	把握する数量	算出方法	具体的な方法	
	大気への排出量	物質収支	取扱量から廃棄物への移動量を差し引いて算出	
	廃棄物への移動量	実測	廃棄物内の当該物質の濃度を測定	
取扱量・排出量	年度	取扱量 (kg/年)	大気への排出量 (kg/年)	公共用水域への排出量 (kg/年)
	平成 13 年度	41,000	28,000	0
	平成 14 年度	35,000	16,000	0
	平成 15 年度	21,000	8,400	0

【取組の内容】

取組の経緯	作業環境の改善と社会的な状況をみて、社内独自で判断		
取組の内容	取組	取組の内容	
	開閉式の蓋を設置	平成 14 年 8 月頃、洗浄槽に開閉式の蓋を設置して、使用時以外は閉めておくことを徹底	
	回収装置の採用	平成 15 年 4 月に冷却凝縮回収装置を設置して、排出量の 4 割を回収	
	<u>取組に関する情報の入手</u> <ul style="list-style-type: none"> 蓋の設置は自社独自の情報と親会社からの指導 回収装置の設置は廃棄物を委託しているリサイクルメーカーから情報を得て、紹介により購入 <u>他の取組との比較</u> <ul style="list-style-type: none"> 吸着式の回収装置よりもランニングコストが安価 		
取組の選定理由	<ul style="list-style-type: none"> 開閉式の蓋の設置は作業や対応が簡便だったため 回収装置の設置はメンテナンスが簡便だったため 		
取組に係るコスト	取組	導入コスト	運転コスト
	開閉式の蓋を設置	約 50 万円	-
	回収装置の設置	450 万円 (3 年で償却できる見込み)	電気代 72 万円/年 年 1 回の活性炭フィルタの交換費
取組前後の比較	<u>作業効率等の比較</u> <ul style="list-style-type: none"> 臭いが激減 開閉が面倒だという意見もあるが、使用時以外は必ず閉めるように指導 <u>排出量削減効果</u> <ul style="list-style-type: none"> 取扱量・排出量の削減効果 (図 1 参照) 		

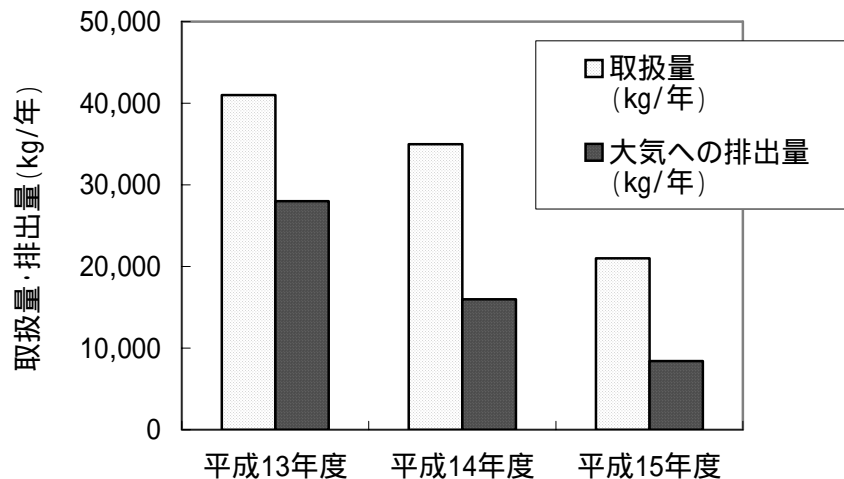


図 1 取組による削減効果

【今後の展望等】

項目	内容
追加的な取組の可能性	代替溶剤を検討中
排出量の削減目標	-
その他の特記事項	-

【備考】

<p>事業所担当者所感</p> <ul style="list-style-type: none">・ 地球環境保護への対応を常に考えている
--